

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

### 事業名 障害福祉分野の介護テクノロジー導入事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111（内3494）

E-mail : c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,450 千円 (前年度予算額： 21,205 千円)

#### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	21,205	14,136	0	0	0	0	0	0	7,069
要求額	27,450	18,300	0	0	0	0	0	0	9,150
決定額									

#### 2 要求内容

##### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 障害福祉の現場において介護ロボットやICTのテクノロジーを活用することにより、介護業務の負担軽減、労働環境の改善、業務負担効率化を推進する。

##### (2) 事業内容

- 介護ロボット等を導入する障害者支援施設事業者等に対し、整備に係る費用を補助する。
- ICT機器を導入する障害福祉サービス事業所等に対し、整備に係る費用の補助や活用事例を紹介する研修会を実施する。また、AIカメラ等を導入する障害福祉事業者等に対し、整備に係る費用を補助する。
- 介護ロボット等やICTを複数組み合わせて導入する障害者支援施設サービス事業者等に対し、整備に係る費用について補助する。また、見守り機器を導入する障害者支援施設事業者及び共同生活援助事業者に対し、通信環境整備に係る費用を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方  
国 1/2 県 1/4 事業者 1/4

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	27,450	障害福祉分野における介護テクノロジー導入に対する補助金
合計	27,450	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ  
障がい者福祉 DXプロジェクト

(2) 国・他県の状況  
国が実施する補助事業を活用して実施

(3) 後年度の財政負担  
障害福祉事業者の介護テクノロジー導入支援は継続的に実施する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性  
国要綱に基づき実施する事業である。  
<支払根拠>  
障害者総合支援事業費補助金交付要綱  
岐阜県障害福祉分野の介護テクノロジー導入事業費補助金交付要綱

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
■ 繼続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

障害福祉の現場において介護ロボットやＩＣＴのテクノロジーを活用することにより、介護業務の負担軽減、労働環境の改善、業務負担効率化を推進する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	R3年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① ロボット導入補助 施設数（累計）	21	37	40	40	40	93%
② I C T 交付事業所 数（累計）	42	77	91	91	91	85%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	新型コロナ感染症関連の補助事業として、事業者から導入予定の事業計画を募り、補助を実施。
	指標① 目標：35 実績：28 達成率：80 %
	指標② 目標：46 実績：42 達成率：91 %
令和 5 年 度	事業者から導入予定の事業計画を募り、補助を実施。
	指標① 目標：35 実績：34 達成率：97 %
	指標② 目標：46 実績：42 達成率：91 %
令和 6 年 度	事業者から導入予定の事業計画を募り、補助を実施。
	指標① 目標：35 実績：37 達成率：106 %
	指標② 目標：46 実績：77 達成率：167 %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	補助金の交付により介護テクノロジーの導入が進み、利用者の安全性・利便性や生産性が向上するため、本事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 導入施設数の目標を上回る実施ができている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 年に追加募集するといった、事業が広く行うことができるようにしていく。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

応募多数となった場合の予算確保。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

事業実施事業者から効果があるとの声が聞かれ、問い合わせも増えている事業であるため、国の補助制度が続く間は、継続して事業を実施する。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	